

日本教育大学協会が学長・学部長等連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝國分充・東京学芸大学長）は、10月8日（木）、学長・学部長等連絡協議会をWeb会議にて開催し、会員大学・学部の学長・学部長をはじめ関係者約110名が参加した。

冒頭の挨拶で國分会長は、「今年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染の広がりの中、教員養成系大学・学部はこれまでに経験したことのない状況に向き合い、日々困難な対応を迫られている。本協会でも、教員養成系大学・学部が特に対応に苦慮していた教育実習や介護等体験についての調査を実施し、7月1日付けで文部科学省に教育実習等の実施に係る更なる弾力化についての要望書を提出した。その後8月に文部科学省から発出された教育実習特例や介護等体験の代替措置等に関する通知をもとに、各大学・学部は今年度の教育実習等の実施について、その対応に追われていることと思う。本日は文部科学省からの施策説明において、今後の教員養成系大学・学部にとっても重要な方向が示されることと思うが、各大学・学部において共有を図るとともに、本日の協議会が実り多いものとなるよう、忌憚のない意見をいただきたい。」と述べた。続いて、今年度の4月から副会長に就任した太田耕人近畿地区会長（京都教育大学長）、木村勝彦全国国立大学附属学校連盟理事長（茨城大学教育学部附属小学校長）から、それぞれ挨拶があった。その後、國分会長が議長を務めることについて了承した。

前半の文部科学省による説明では、田中義恭初等中等教育企画課教育制度改革室長から新しい時代の初等中等教育の在り方について（中教審諮問）、板倉寛教育課程課教育課程企画室長から最近の教育課程行政をめぐる動きについて、小野賢志情報教育・外国語教育課外国語教育推進室長から小・中・高等学校の外国語教育の充実に向けて、安彦広斉参事官（高等学校担当）付高等学校改革推進室長から高等学校教育改革について、大根田頼尚調査企画課学力調査室専門官から令和3年度全国学力・学習状況調査について、森次郎国立大学法人支援課課長補佐から国立大学法人等を巡る最近の動向について、尾白泰次教育人材政策課教員免許企画室専門官から教職課程における教師のICT活用指導力充実に向けた取組等について、齋藤潔教育人材政策課教員養成企画室長から教師の資質能力の向上等について、それぞれ最新の施策説明があり、意見交換を行った。

後半は、会員大学・学部から提案された新型コロナウイルス感染症に関連する議題について、それぞれ意見交換を行い、各大学・学部での取組等の共有がなされた。引き続き、企画・調査研究委員会及び年報編集委員会の活動状況について、各委員長から報告があった。

〈学長・学部長等連絡協議会〉



國分会長



太田副会長



木村副会長



（事務局の様子）



(協議会の様子)